



一般社団法人日本死の臨床研究会

中国・四国支部大会 in 愛媛

愛媛緩和ケア研究会：合同共催

“ささえあう”と云うこと

開催日：2025年5月25日（日）9:00～15:00【開場8:30】
大会長：西久保 直樹（ベテル三番町クリニック）
会場：愛媛県医師会館 5階ホール【開催形式：現地開催のみ】
松山市三番町4丁目5-3（Tel089-943-7582）

午前の部 研究発表 医療福祉関係者のみ 参加費 会員 1,500円
9:00～12:00 非会員 2,000円
（愛媛緩和ケア研究会入会者は年会費含め、3,000円）

午後の部 市民公開講座 一般参加可
13:00～15:00 ※参加費無料

講師：医療法人社団悠翔会理事長・診療部長 佐々木 淳 氏
テーマ：「生きて、生きるということ」



1998年筑波大学医学専門学群卒業。社会福祉法人三井記念病院内科/消化器内科、東京大学医学部附属病院消化器内科等を経て、2006年に最初の在宅療養支援診療所を開設。2008年医療法人社団悠翔会に法人化、理事長就任。2021年より内閣府・規制改革推進会議・専門委員。

現在、首都圏ならびに愛知県（知多半島）、鹿児島県（与論島）、沖縄県（南風原町・石垣島）に全24拠点を展開。約8,500名の在宅患者さんへ24時間対応の在宅総合診療を行っている。また、2023年には訪問看護ステーションを東京都（港区）に、2024年には訪問看護ステーションを併設する看護小規模多機能型居宅介護を茨城県（守谷市）に開設。最期まで自宅で過ごしたいと願うすべての人の想いに応えるために邁進している。

【出版】『これからの医療と介護のカたち 超高齢社会を明るい未来にする10の提言』（日本医療企画、2016）、『在宅医療 多職種連携ハンドブック』（法研、2016）、『在宅医療カレッジ 地域共生社会を支える多職種の学び 21講』（医学書院、2018）、『在宅医療のエキスパートが教える 年をとったら食べなさい』（飛鳥新社、2021）、『現場で役立つ よくわかる訪問看護』（池田書店、2023）他。

大会事務局・お問い合わせ 医療法人聖愛会 松山ベテル病院

【電話：089-925-5000】【E-mail：c-rinsyo@bethel.or.jp】

後援：松山市、愛媛県医師会、松山市医師会、愛媛県看護協会、愛媛新聞
独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター